

感染対策は「リスクへの危機意識」から始まります

北海道は今、「変異型コロナウイルス[N501Y]」
が主流。ほぼ100%とされています。



感染症専門家によると…

- 1 感染力はこれまでより約1.4倍以上であるため、
- 2 感染拡大のスピードが速く
- 3 年齢に関係なく容体が急変、重篤になりやすいとのことです。

1 感染防止はご家族や周囲のためにも行う

身近な人が「重篤」「犠牲」になってから
驚いても遅いのです！

(1) 次にご留意ください。

ア マスク着用はエアロゾル(飛沫)防止のため

ワイヤーを鼻にフィットさせることで隙間からの飛沫感染防止

- ①「不織布」⇒効果90%以上 ②「ガーゼ」⇒効果70%～80%
③「布・ウレタン」⇒効果約50% ④鼻だしマスクはほぼ効果なし。

イ 札幌でも「インド型変異ウイルス」が流行することは予想できます。[N501Y]の1.5倍の感染力

- ①ソーシャルディスタンスは1.5m以上保つ。不可能な場合は最低でも話さない。
⇒「1密」でも要注意 「3密」(密閉・密集・密接)のどれであっても避けるのが無難
⇒感染者の85%がマスク外し「黙食・黙飲」の習慣化、独りでマスク外して呼吸が無難
- ②今の北海道、特に札幌市は、感染しても行き先(病院)がなかなか見つかりにくい。

ウ 必要以外の外出や遊びは禁物

- ①「辛抱と我慢のとき」生徒は学校と自宅の往復に限定し、リスク抑制に努める。
⇒「家庭内感染」は想像以上に確率が高いのが現実
- ②今のご時世に、複数人と会う、会食、カラオケやゲームセンターなどに遊びに行く、昼夜関係なく出歩くなど。こうした行為は感染リスクを高め、自分や家族の命を危険にさらす可能性があることを十二分知っておくことです。
- ③不安な心を少しでも取り除きたいのなら、不安を与えない言動をすればいいのです。

2 助け合いの心 ～「感謝の心・奉仕の心」はよき人間関係を生む～

世界中ではコロナ禍で大変な思いをしている方々が大勢います。世代を問わず、じっと我慢できる人とできない人、楽しみを見つける人とその日その日を過ごす人、などなど。本校生と、ご家族の皆さんはそうした中を一生懸命過ごしていると思います。苦しいときもあるでしょう。そんなときこそ互いに支え合い、健康で安全でいてください。必ずコロナウイルストンネルから抜け出せます。

コロナウイルスに感染しない、感染させないを心に留めて一歩一歩進んでまいりましょう。ワクチン接種も始まります。そして、時間の経過とともに感染状況は必ず落ち着きます。共に乗り越えていきましょう。

～ 苦しいときや辛いとき、自分の心を明るい未来、夢へと向けていくと笑顔になれます ～